

TSE:9531

2026年度（2027年3月期） 第1四半期決算説明会

2026年7月30日

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.



目次

1 エグゼクティブ サマリー

- 1-1 決算ハイライト
- 1-2 2028年度ROE9%目標達成に向けた進捗

2 決算概要

- 2-1 決算概要
- 2-2 連結貸借対照表
- 2-3 キャッシュフロー
- 2-4 セグメント別ROIC
- 2-5 3つの利益成長ドライバー 利益進捗

3 セグメント概況

- 3-1 セグメント概況

4 補足資料

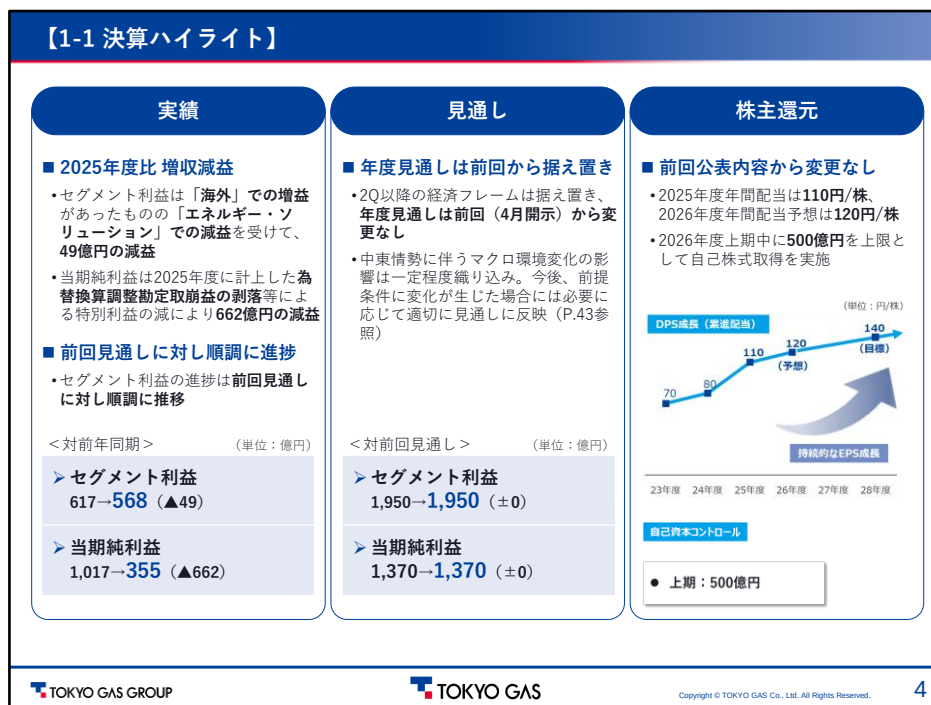
- 4-1 実績 対 前年同期
- 4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度
- 4-3 原油価格・為替レート変動の粗利影響感度（都市ガス）
- 4-4 原油価格・為替レート
- 4-5 タイムラグ差損益（都市ガス）
- 4-6 参考

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

1

エグゼクティブサマリー



第1四半期のセグメント利益実績は、対前年度比、▲49億円の減益となりました。「海外」でのシェールガス事業で増益があったものの、「エネルギー・ソリューション」において、原油価格が上昇基調のなか、ガス・電力のタイムラグ影響の悪化により減益があったことによるものです。

対前年度では減益ですが、4月に開示した年度見通しの進捗としては順調に推移していると評価しております。

こうした進捗を踏まえ、年度見通しは前回から据え置いております。

また、中東情勢を織り込んでいる経済フレームも据え置いております。

中東情勢の影響については43ページにまとめておりますので後ほどご参照ください。

株主還元につきましては、前回開示から変更はなく、26年度の年間配当予想は120円、上期中の500億円の自己株取得を進めているところです。

【1-2 2028年度ROE9%目標達成に向けた進捗】		
2025年度 実績		2026年度 見通し
ROE 13.2%		ROE 8.0%
当期純利益 2,268億円 セグメント利益 2,011億円	・特別利益の剥落により当期純利益は減益。本業ベース（セグメント利益）ではガス料金適正化や都市ビジネスのホテル過年稼働等を見込むものの、若干の減益。	当期純利益 1,370億円 セグメント利益 1,950億円
D/Eレシオ 0.74	・資本効率を意識した経営のもと、資産入替や負債活用で生み出した資金を、成長領域への投資と株主還元の双方に配分 ・1Q実績：東京ガスリース・一部再エネ子会社の持分譲渡を実施	D/Eレシオ 0.85
総資産 38,922億円	総資産 □事業ポートフォリオ管理 ・投資 4,777億円 ・資産/事業売却等 632億円	総資産 39,560億円
有利子負債 12,772億円	自己資本 □EPS成長に合わせた増配： 2025年度 110円/株 2026年度 120円/株（予想） □自己資本コントロールのための自己株式取得： 上期 500億円	有利子負債 14,530億円
自己資本 （期央値） 17,174億円 (17,214億円)	CF 営業CF※1 3,980億円 投資CF（回収分控除後）▲4,145億円 FCF ▲165億円	自己資本 （期央値） 17,040億円 (17,107億円)
※1 親会社株主に帰属する当期純利益＋減価償却費で算定		
TOKYO GAS GROUP		TOKYO GAS
		Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.
		5

今年度のROE見通し8%に向けて、各数値は変更ありませんが、第1四半期において、投資有価証券の売却のほか、東京ガスリースや一部再エネ子会社の株式の持分譲渡を実行し、効率化につながる取り組みを進めております。

2 決算概要

【2-1 決算概要】2026年度第1四半期実績 サマリー					詳細はP.24
2026年度第1四半期実績は、前年同期比増収減益。 - セグメント利益は、北米シェールガス事業での販売単価上昇による「海外」の増益を、ガス・電力のタイムラグ影響による「エネルギー・ソリューション」の減益が上回り、前年同期比49億円の減益。 - 当期純利益についても、政策保有株および一部再エネ子会社の持分譲渡に伴う投資有価証券売却益による特別利益を計上した一方で、前年度に計上した為替換算調整勘定取崩益の剥落等により、前年同期比662億円の減益。					
(単位：億円)					
	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	主な増減要因	
売上高	6,734	6,473	261		
営業利益	554	625	▲ 71		
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	568	617	▲ 49		
エネルギー・ソリューション	269	555	▲ 286	ガス・電力のタイムラグ影響に伴う単価減およびJEPX価格上昇による電源調達コスト増による利益減 等	
ネットワーク	4	14	▲ 10	託送供給収益減 等	
海外	340	119	221	北米シェールガス事業の2026年1月下旬の寒波に伴う販売単価上昇による利益増 等	
都市ビジネス	46	35	11	ホテル連年営業による利益増 [前年度：リノベーションに伴う休業(～12月)] 等	
経常利益	495	571	▲ 76		
特別損益	83	748	▲ 665	《当期》投資有価証券売却益 60、固定資産売却益 22 《前期》東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う為替換算調整勘定取崩益 680、固定資産売却益 42、投資有価証券売却益 25	
親会社株主に帰属する当期純利益	355	1,017	▲ 662		

TOKYO GAS GROUP

TOKYO GAS

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

第1四半期の業績は「増収減益」となりました。
売上高は＋261億円増、セグメント利益は▲49億円減の568億円となりました。

「エネルギー・ソリューションセグメント」では、ガス・電力においてタイムラグ影響の悪化やJEPX高騰による外部電源調達コストの増加、自社発電所の大規模修繕による固定費増により、▲286億円減の269億円となりました。

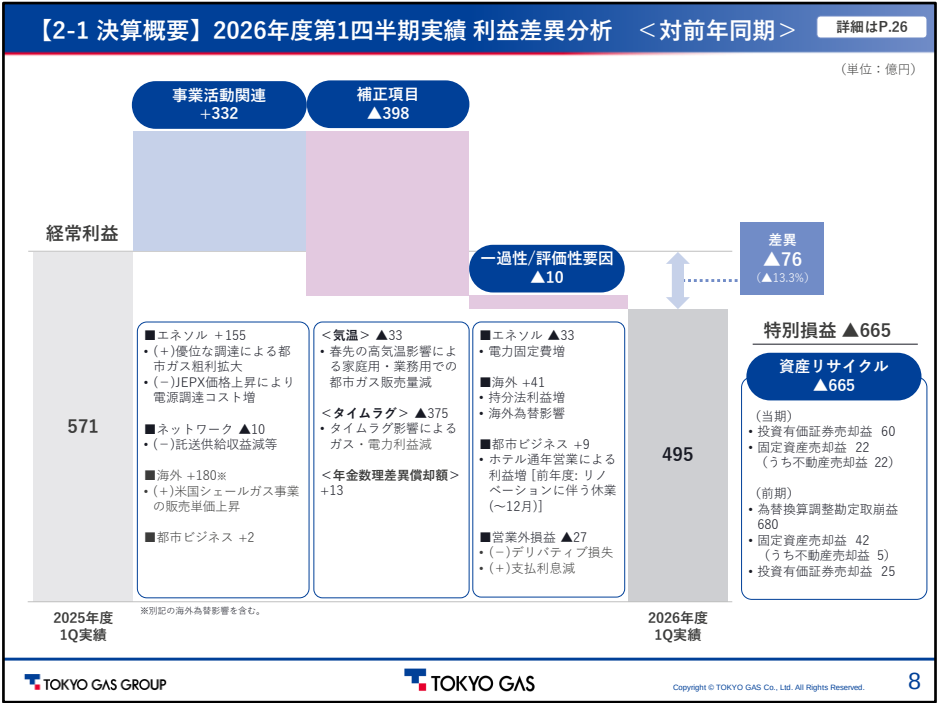
「ネットワークセグメント」は託送供給収益の減少により、▲10億円減の4億円となりました。

「海外セグメント」は北米シェールガス事業において、現地1－3月における市場価格上昇に伴う販売単価上昇により221億円増の340億円となりました。

「都市ビジネスセグメント」は昨年12月までのホテルリノベーションに伴う休業から、今年度は通年営業することに伴い、11億円増の46億円となりました。

特別損益は、昨年度は東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う特別利益の計上がありましたが、今年度は政策保有株式や一部再エネ子会社の持分譲渡により、投資有価証券売却益および、固定資産売却益を計上したことで83億円となりました。

これにより親会社株主に帰属する当期純利益は、▲662億円減の355億円となりました。



利益の増減を要因別にお示ししております。

【2-1 決算概要】2026年度見通し

詳細はP.32

- 第1四半期において前回見通し（4月開示）に対して順調に推移していることを踏まえ、見通しは前回から変更なし。
- 2Q以降の経済フレームも中東情勢を一定程度織り込んだ前回から変更なし（原油価格（JCC）：上期平均\$103/bbl、下期平均\$70/bbl）。

（単位：億円）

	2026年度 見通し	前回見通し (4月開示)	増減	2025年度 実績	増減
売上高	29,470	29,470	0	28,347	1,123
営業利益	1,860	1,860	0	1,976	▲116
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	1,950	1,950	0	2,011	▲61
エネルギー・ソリューション	1,402	1,402	0	1,502	▲100
ネットワーク	12	12	0	41	▲29
海外	769	769	0	738	31
都市ビジネス	180	180	0	97	83
経常利益	1,730	1,730	0	1,937	▲207
特別損益	171	171	0	954	▲783
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	1,370	0	2,268	▲898

TOKYO GAS GROUP

TOKYO GAS

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

2026年度通期につきましては、前回から変更はなく、セグメント利益は1,950億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,370億円、ROE 8%を据え置いております。

前提となる経済フレームにつきましても、中東情勢を一定程度織り込んだ4月時点の見通しを第2四半期以降も据え置き、上期は1Q実績を反映した原油価格1バレルあたり平均103ドル、下期は平均70ドル、通期は86.68ドルとしております。

【2-2 連結貸借対照表】

再掲（4月開示）

2026年3月末

2027年3月末（見通し）

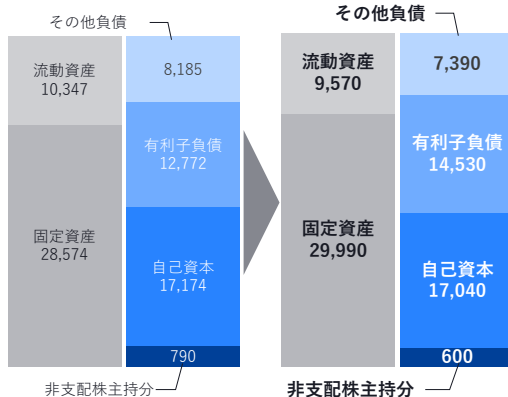
（単位：億円）

（単位：億円）

（単位：億円）

総資産：38,922

総資産：39,560

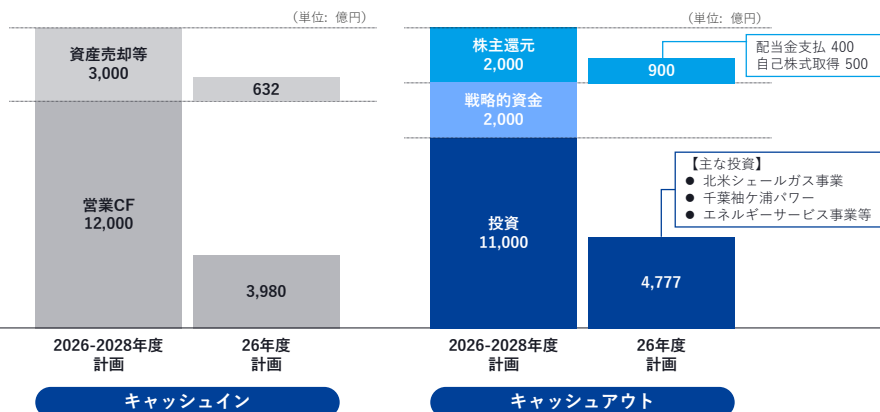


増減	主な増減要因
総資産	638
自己資本	▲ 134 親会社株主に帰属する当期純利益 +1,370、配当金支払 ▲400、自己株式取得 ▲500 他

【2-3 キャッシュアロケーション】

再掲（4月開示）

- ・ 投融資回収・資産売却によるキャッシュインを控除した投資合計は、中期経営計画にインライン水準の4,145億円（グロス投資は4,777億円）。
- ・ 北米シェールガス事業、千葉袖ヶ浦パワーなどをはじめ利益成長、資産効率向上、安定的収益基盤の維持に必要な投資の厳選と、資産の入替を実行。

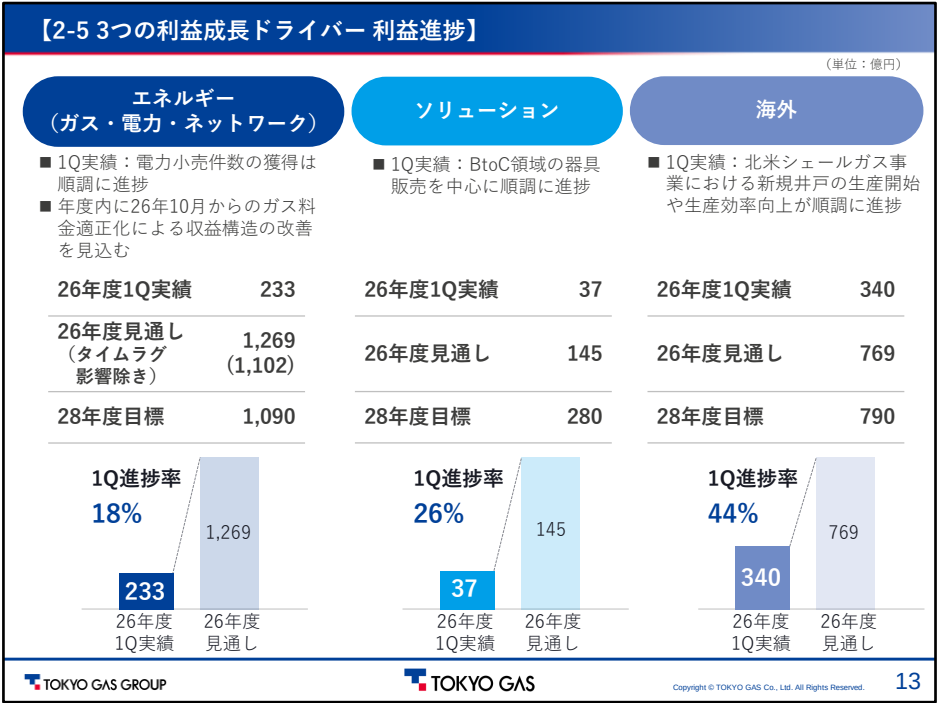


【2-4 セグメント別ROIC】

再掲（4月開示）

（単位：億円）

	26年度見通し		28年度計画		期間WACC
	投下資本	ROIC	投下資本	ROIC	
エネルギー（ガス・電力）	14,074	6.4%	13,000	6.0%	3.0%
ソリューション	2,744	4.1%	4,100	5.0%	4.0%
海外 （下段括弧内は上流のみ）	8,076	7.6% (9.3%)	9,000	7.0% (9.0%)	8.0% (8.5%)
都市ビジネス （不動産売却益含む）	2,822	6.7%	3,100	8.0%	4.0%
全社	30,758	4.7%	30,200	5.0%	3.5%



中期経営計画において利益成長ドライバーに位置づけている3事業の進捗についてお示ししています。

3 セグメント概況

【3-1 セグメント概況】 エネルギー・ソリューション

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：ガス・電力のタイムラグ影響に伴う単価減、JEPX価格上昇による電力の電源調達コスト増、昨年の6月高気温影響の剥落による電力販売量減、発電所大規模修繕による固定費増等により、減益。
- 26年度見通し(対25年度)：ガスは料金適正化・費用減を見込み増益。電力はJEPX調達単価増や発電所の大規模修繕による固定費増を見込み減益。ソリューションは地冷の修繕費増やエンジニアリング受注減を見込むもほぼ横ばい。結果として、セグメント全体では、25年度対比で100億円の減益となる見通し。

(単位：億円)											
	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
売上高	5,717	5,668	49	0.9	25,394	25,394	0	0.0	24,861	533	2.1
ガス	3,721	3,647	74	2.0	15,727	15,727	0	0.0	15,374	353	2.3
電力	1,332	1,420	▲ 88	▲ 6.2	6,594	6,594	0	0.0	6,572	22	0.3
ソリューション ※2	941	886	55	6.3	4,434	4,434	0	0.0	4,108	326	7.9
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	269	555	▲ 286	▲ 51.4	1,402	1,402	0	0.0	1,502	▲ 100	▲ 6.7
ガス	190	412	▲ 222	▲ 53.9	1,099	1,099	0	0.0	870	229	26.3
電力	38	88	▲ 50	▲ 56.1	158	158	0	0.0	449	▲ 291	▲ 64.9
ソリューション ※2	37	52	▲ 15	▲ 27.2	145	145	0	0.0	171	▲ 26	▲ 15.7
減価償却費	—	—	—	—	※1 708	※1 708	0	0.0	668	40	6.0
セグメント資産	—	—	—	—	17,060	17,060	0	0.0	16,471	588	3.6
合計	—	—	—	—	1,278	1,278	0	0.0	667	611	91.5
設備投資	—	—	—	—	339	339	0	0.0	217	122	56.1
ガス	—	—	—	—	504	504	0	0.0	174	330	189.2
電力	—	—	—	—	434	434	0	0.0	275	158	57.7
ソリューション ※2	—	—	—	—	326	326	0	0.0	104	221	212.6
投資資 (回収含まず)	—	—	—	—	123	123	0	0.0	—	—	—
ガス	—	—	—	—	57	57	0	0.0	51	5	10.9
電力	—	—	—	—	145	145	0	0.0	—	—	—
ソリューション	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—

※1 長期前払費用償却を含む

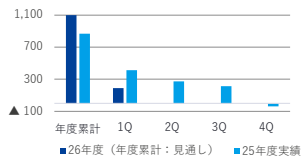
※2 「ガス」「電力」「ソリューション」の2025年度1Qおよび過期実績は26-28中計で示した事業内容に基づき組み換え再算定したものを開示

【3-1 セグメント概況】エネルギー・ソリューション

■セグメント利益推移

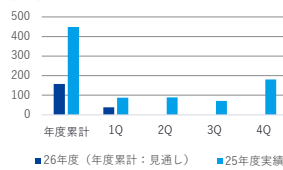
□ガス

(億円)



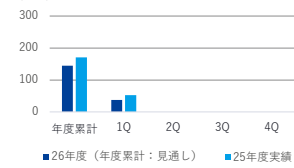
□電力

(億円)

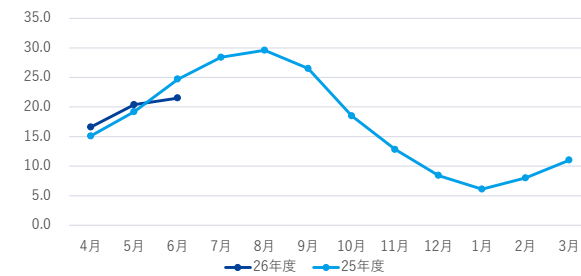


□ソリューション

(億円)



■気温



【3-1 セグメント概況】エネルギー・ソリューション（都市ガス販売量）

詳細はP.29, 37

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：春先の高気温影響等に伴う家庭用での減少が主に発電専用需要の稼働増による工業用需要増を上回り、全体では減少。
- 26年度見通し(対25年度)：発電専用需要等の減少を織り込み減少。

2026年度1Q実績

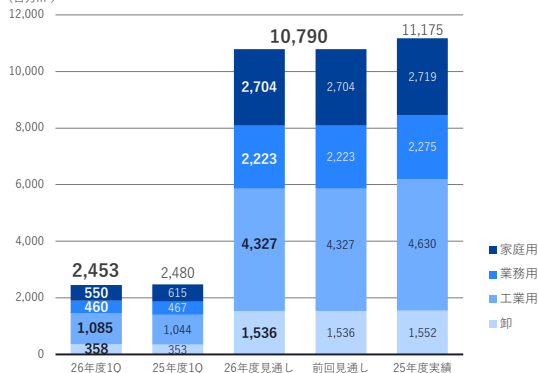
対前年同期
▲27百万m³ (▲1.1%)
うち気温影響
▲40百万m³ (▲1.6%)

2026年度見通し

対前回見通し
±0百万m³ (—)
対前年度実績
▲385百万m³ (▲3.4%)
うち気温影響
+9百万m³ (+0.1%)

■都市ガス販売量

(百万m³)



■当社（連結）都市ガス 小売お客さま件数推移（万件）

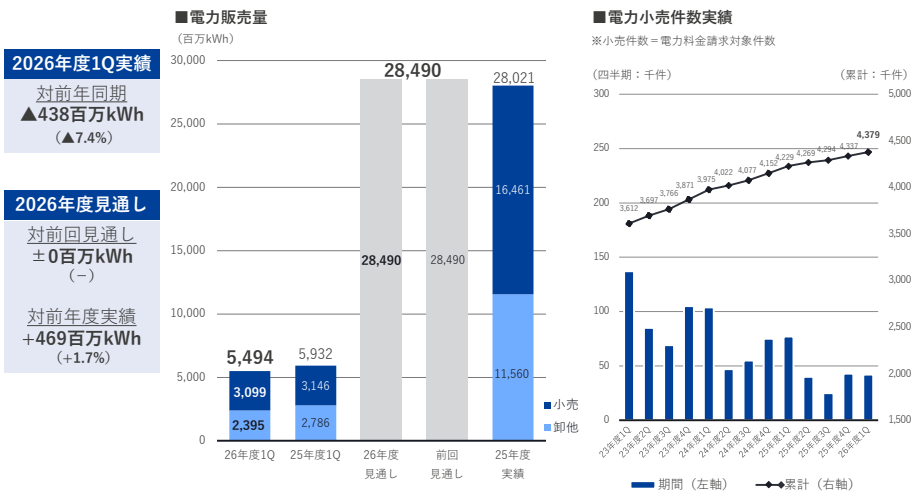
	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.6
件数 (増減)	1,026.9 (—)	1,020.9 (▲6.0)	982.1 (▲38.8)	912.9 (▲69.2)	886.3 (▲26.6)	868.8 (▲17.5)	870.1 (+1.3)	878.9 (+8.8)	882.6 (+3.7)	886.1 (+3.5)	890.1 (+4.0)

小売全面自由化（2017.4）

【3-1 セグメント概況】エネルギー・ソリューション（電力販売量）

詳細はP.29, 37

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：昨年6月の高気温影響剥落による小売販売量の減少に加え、卸販売量も減少。
- 26年度見通し(対25年度)：低圧における夏場の高気温影響剥落を織り込む一方で卸販売量の増加を見込み、全体では微増。



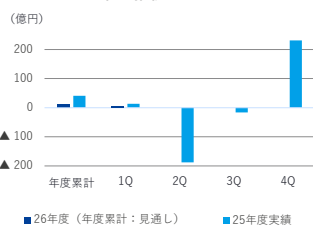
【3-1 セグメント概況】 ネットワーク

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：春先の高気温影響等による託送供給量減により減益。
- 26年度見通し(対25年度)：引き続きコスト低減に努める一方、人件費や道路占用料等の増を見込み減益。

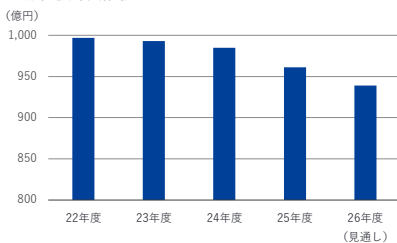
(単位：億円)											
	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
売上高	791	801	▲ 10	▲ 1.4	3,336	3,336	0	0.0	3,344	▲ 8	▲ 0.2
セグメント利益 (営業利益＋持分法損益)	4	14	▲ 10	▲ 71.1	12	12	0	0.0	41	▲ 29	▲ 70.8
減価償却費	—	—	—	—	※1 939	※1 939	0	0.0	961	▲ 22	▲ 2.3
セグメント資産	—	—	—	—	6,090	6,090	0	0.0	6,231	▲ 141	▲ 2.3
設備投資	—	—	—	—	806	806	0	0.0	814	▲ 7	▲ 1.0

※1 長期前払費用償却を含む

■セグメント利益推移



■減価償却費推移



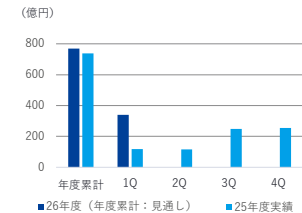
【3-1 セグメント概況】海外

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：北米シェールガス事業の2026年1月下旬の寒波に伴う販売単価上昇により増益。
- 26年度見通し(対25年度)：引き続き北米シェールガス事業はヘッジや低コストオペレーションにより安定的な利益を見込むほか、北米中下流事業の市況活用・25年度の一過性の利益押下げ要因の剥落による持分法利益回復を見込み増益。

(単位：億円)											
	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
売上高	750	578	172	29.7	2,448	2,448	0	0.0	2,414	34	1.4
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	340	119	221	185.2	769	769	0	0.0	738	31	4.1
減価償却費	—	—	—	—	※1 856	※1 856	0	0.0	903	▲ 47	▲ 5.3
セグメント資産	—	—	—	—	12,510	12,510	0	0.0	11,667	842	7.2
設備投資	—	—	—	—	1,661	1,661	0	0.0	1,397	263	18.9
投融資	—	—	—	—	490	490	0	0.0	135	354	260.8

※1 長期前払費用償却を含む (参考) 円・ドル為替レート：25年度4Q(12月末)実績156.54円/\$、26年度見通し155.00円/\$
26年度1Q(3月末)実績159.93円/\$ ←25年度1Q(3月末)実績149.53円/\$

■セグメント利益推移



■北米シェールガス事業における参考データ

確認済埋蔵量 (Tcfe) ※1	4.8		
※1 2025年12月末時点			
	2026年度見通し	前回見通し	2025年度実績
生産量 (Bcfe/日)	1.1	1.1	1.2
操業費用 (\$/mcfe) ※2	1.1	1.1	1.0
設備投資 (百万米ドル/年)	1,059	1,059	791
※2 操業費用：リース操業費、集積・輸送費、生産/従価税、一般管理費			
	2026年度見通し	前回見通し	
想定ヘンリーハブ価格 (\$/MMBtu) ※3	3.8	3.8	
ヘッジ割合 (%)	約75	約75	
価格感応度 (EBIT (百万米ドル) ±\$0.1/MMBtu) ※4	±7	±10	
※3 1MMBtu≒1Mcf ※4 見通し作成時点からの感度			

【3-1 セグメント概況】都市ビジネス

- 26年度1Q実績(対25年度1Q)：パークハイアット東京の通年営業による利益増〔前年度：リノベーションに伴う休業（～12月）〕。
- 26年度見通し(対25年度)：パークハイアット東京の大規模改修完了・通年稼働（25年度は4か月分の収入）およびキャピタルリサイクルのための販売用不動産の売却（セグメント利益計上）の増加により、増益。

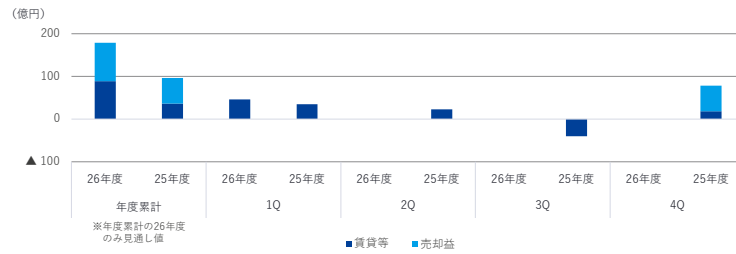
(単位：億円)

		2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
計		176	145	31	21.4	966	966	0	0.0	734	232	31.5
セグメント売上高	賃貸等	176	145	31	21.4	708	708	0	0.0	603	105	17.4
	売却	—	—	—	—	257	257	0	0.0	130	127	96.9
固定資産（不動産）売却		14	7	7	100.8	103	103	0	0.0	383	▲280	▲73.0
(参考) 事業売上高		190	152	38	25.1	1,069	1,069	0	0.0	1,117	▲48	▲4.3
売却 計		14	7	7	100.8	360	360	0	0.0	513	▲153	▲29.8
計		46	35	11	32.9	180	180	0	0.0	97	83	84.7
セグメント利益	賃貸等	46	35	11	32.9	89	89	0	0.0	36	53	143.0
	売却益	—	—	—	—	90	90	0	0.0	60	30	49.3
固定資産（不動産）売却		11	5	6	110.1	82	82	0	0.0	369	▲287	▲77.8
(参考) 事業利益		58	40	18	43.4	262	262	0	0.0	466	▲204	▲43.8
売却益		11	5	6	110.1	172	172	0	0.0	429	▲257	▲59.9
減価償却費		—	—	—	—	※1 141	※1 141	0	0.0	119	21	18.1
計		—	—	—	—	3,550	3,550	0	0.0	3,437	112	3.3
セグメント資産	賃貸用等	—	—	—	—	3,060	3,060	0	0.0	2,983	76	2.6
	販売用	—	—	—	—	490	490	0	0.0	453	36	7.9
設備投資		—	—	—	—	147	147	0	0.0	221	▲74	▲33.6
投融資		—	—	—	—	100	100	0	0.0	2	97	3,812.9

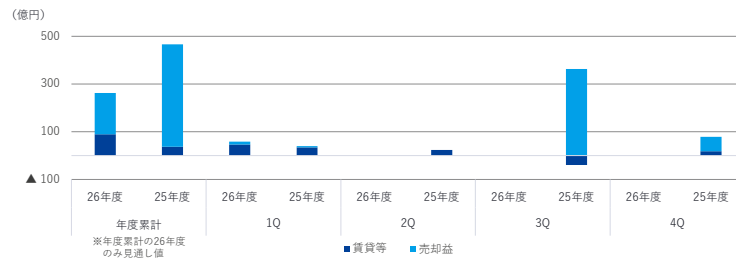
※1 長期前払費用償却を含む

【3-1 セグメント概況】都市ビジネス

■セグメント利益推移



■事業利益推移



4

補足資料

【4-1 実績 対 前年同期】売上・利益等

(+/▲は利益に対する影響を示す、単位：億円)

	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%
売上高	6,734	6,473	261	4.0
営業利益	554	625	▲ 71	▲ 11.4
セグメント利益（営業利益+持分法損益）	568	617	▲ 49	▲ 8.0
経常利益	495	571	▲ 76	▲ 13.3
特別損益	83	748	▲ 665	▲ 88.9
親会社株主に帰属する当期純利益	355	1,017	▲ 662	▲ 65.0
気温影響	▲ 5	28	▲ 33	—
タイムラグ影響	▲ 190	185	▲ 375	—
補正項目 （経常ベース）	▲ 149	113	▲ 262	—
都市ガス	▲ 11	27	▲ 38	—
LNG販売	▲ 30	45	▲ 75	—
電力	▲ 30	45	▲ 75	—
年金数理差異償却額	53	40	13	—

■参考：経済フレーム、気温

	2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
為替レート（¥/\$）	159.57	144.60	14.97	10.4
原油価格（\$/bbl）	112.71	75.19	37.52	49.9
平均気温（℃）	19.5	19.7	▲ 0.2	—

■参考：年金（期待運用収益率：2%）

	2026年度1Q
運用利回り	2.24%
※コスト控除後	
期末資産（億円）	2,341

【4-1 実績 対 前年同期】セグメント別 売上高・利益

(単位：億円)								
	売上高 ^{※5}				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%	2026年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	増減	%
エネルギー・ソリューション ^{※1} （持分法損益含む）	5,717	5,668	49	0.9	269	555	▲ 286	▲ 51.4
ガス ^{※2}	3,721	3,647	74	2.0	190	412	▲ 222	▲ 53.9
電力	1,332	1,420	▲ 88	▲ 6.2	38	88	▲ 50	▲ 56.1
ソリューション	941	886	55	6.3	37	52	▲ 15	▲ 27.2
ネットワーク	791	801	▲ 10	▲ 1.4	4	14	▲ 10	▲ 71.1
海外	750	578	172	29.7	340	119	221	185.2
（持分法損益）	—	—	—	—	12	▲ 9	21	—
都市ビジネス （持分法損益含む）	176	145	31	21.4	46	35	11	32.9
売却 ^{※3}	—	—	—	—	—	—	—	—
調整額 ^{※4}	▲ 700	▲ 720	20	—	▲ 93	▲ 106	13	—
セグメント合計額	6,734	6,473	261	4.0	568	617	▲ 49	▲ 8.0
（持分法損益）	—	—	—	—	14	▲ 7	21	—

^{※1} 「ガス」「電力」「ソリューション」の2025年度1Q実績は26-28中計で示した事業内容に基づき組み換え再算定したものを開示
^{※2} 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む
^{※3} 営業外・特別損益に計上の固定資産（不動産）売却額・売却損益を含む金額はP.21を参照
^{※4} セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用
^{※5} セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む

【4-1 実績 対 前年同期】 経常利益分析

(単位：億円)			
		事業活動関連	補正項目
		一過性/評価性要因	
2026年度 1Q 495 差異 ▲76 (▲13.3%) 2025年度 1Q 571	セグメント利益 ▲49 (▲8.0%) 568→617	●ガス ▲222 ➢都市ガス粗利減 ▲164 ・数量差等 (気温影響以外) +131 ➢都市ガス固定費減 +15 ➢LNG販売・トレーディング利益減	・数量差 (気温影響) ▲33 ・タイムラグ影響 ▲262 ・タイムラグ影響 (LNG販売) ▲38
	エネルギー・ソリューション ▲286 (▲51.4%) 269→555	●電力 ▲50 ➢電力粗利減 ▲15 ・数量差 ▲0 ・単価差 (燃調期ずれ以外) +60 (売上高) ▲93：数量差▲101 (小売▲41、卸他▲59) 単価差+7 (小売▲27、卸他+34) (調達費) +78：数量差+100、単価差▲22	・燃調期ずれ ▲75 ➢ 固定費増等 ▲33
	ネットワーク ▲10 (▲71.1%) 4→14	●ソリューション ▲15 ・東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ利益増 +1※ ※数値は連結消去前の各社単純合算、持分法利益除く	
	海外 +221 (+185.2%) 340→119	・託送供給収益減等 ▲10	
	都市ビジネス +11 (+32.9%) 46→35	・TGアメリカグループ利益増 +196※ (344→148：2026年1月下旬の寒波に伴う北米シェールガス事業の販売単価上昇等) ※数値は連結消去前の各社単純合算、持分法利益除く。	・持分法利益増 +21 (トレーディング事業等) ・海外為替影響 +20 (159.93→149.53円/\$)
	連結調整等 +15		・好成績による利益増 [前年度リハーサルに伴う休業 (～12月)]
	営業外損益 ▲27 ※持分法損益除く		・デリバティブ差損益 ▲38 ・支払利息減 +27 等

※符号は利益に対する影響を示す

【4-1 実績 対 前年同期】資産、キャッシュ・フロー等

(単位：億円)

	2026年度1Q実績 (2026年6月末)	2025年度実績 (2026年3月末)	増減	%
総資産	38,687	38,922	▲ 235	▲ 0.6
自己資本	17,262	17,174	88	0.5
自己資本比率	44.6%	44.1%	0.5%	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	45.7%	45.2%	0.5%	—
有利子負債残高	13,612	12,772	840	6.6
(内) ハイブリッド社債・ローン	833	833	—	—

(単位：億円)

	2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
親会社株主に帰属する当期純利益	355	1,017	▲ 662	▲ 65.0
減価償却費※1,2	654	692	▲ 38	▲ 5.5
営業キャッシュ・フロー※3	1,010	1,709	▲ 699	▲ 40.9
設備投資※1	678	721	▲ 43	▲ 5.9
投融資（相殺後）	▲ 74	43	▲ 117	—

※1 設備投資・減価償却費は内部取引相殺後

※2 減価償却費には長期前払費用償却を含む

※3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「親会社株主に帰属する当期純利益＋減価償却費」と定義した簡便法で算定

【4-1 実績 対 前年同期】各種財務指標

	2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
総資本回転率 ^{※1} (回転)	0.17	0.17	0.00	—
1株当たり当期純利益 (円/株)	107.15	282.35	▲ 175.20	▲ 62.1
1株当たり純資産 ^{※2} (円/株)	5,223.55	5,151.08	72.47	1.4

※1 総資産・自己資本は期中平均値で算定
 ※2 前期末の数値を表示

【4-1 実績 対 前年同期】販売量・件数

	2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
ガス販売量（百万m ³ ）	3,455	3,541	▲ 86	▲ 2.4
都市ガス販売量	2,453	2,480	▲ 27	▲ 1.1
家庭用	550	615	▲ 65	▲ 10.6
業務用	460	467	▲ 7	▲ 1.7
工業用	1,085	1,044	41	3.9
一般工業用	668	688	▲ 20	▲ 2.8
発電専用	417	357	60	16.8
卸	358	353	5	1.4
LNG販売量（千t）	486	506	▲ 20	▲ 3.9
LNG販売量（百万m ³ 換算）	608	632	▲ 24	▲ 3.9
トーリングによるガス自家使用量（百万m ³ ）	394	428	▲ 34	▲ 7.9
小売お客さま件数（千件）	8,901	8,859	42	0.5
取付メーター数（千件）※	12,715	12,587	128	1.0

※ 導電事業者としてのメーター取付数

■ 家庭用 ▲65百万m ³ (▲10.6%)	■ 業務用 ▲7百万m ³ (▲1.7%)	■ 卸 +5百万m ³ (+1.4%)
気温要因 ▲42百万m ³	気温要因 +2百万m ³	気温要因 ▲0百万m ³
日数影響 ▲5百万m ³	日数影響 +0百万m ³	日数影響 +5百万m ³
お客さま件数 +3百万m ³	お客さま件数 +2百万m ³	その他 卸供給先の需要増等
その他 ▲21百万m ³	その他 ▲11百万m ³	

電力販売量（百万kWh）	5,494	5,932	▲ 438	▲ 7.4
小売	3,099	3,146	▲ 47	▲ 1.5
卸他	2,395	2,786	▲ 391	▲ 14.0
小売お客さま件数（千件）	4,379	4,229	150	3.5

【4-1 実績 対 前年同期】ガス粗利分析

(単位：億円)

	2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
ガス等売上	2,650	2,826	▲ 176	▲ 6.2
			数量差等	▲ 62
			単価差	▲ 114
ガス原材料費	1,647	1,660	▲ 13	▲ 0.8
			うち為替	88
			うち油価	▲ 83
ガス粗利	1,002	1,166	▲ 164	▲ 14.0
			数量差等	98
			気温影響	▲ 33
			その他	131
			タイムラグ影響	▲ 262

【4-1 実績 対 前年同期】 主要連結子会社実績

(単位：億円)					
社名		2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
売上高	東京ガス	4,638	4,852	▲ 214	▲ 4.4
	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	533	515	18	3.5
	TGアメリカグループ ^{※1}	752	579	173	30.0
	その他連結子会社	3,371	3,664	▲ 293	▲ 8.0
	連結子会社計	4,657	4,758	▲ 101	▲ 2.1
社名		2026年度1Q実績	2025年度1Q実績	増減	%
営業利益	東京ガス	118	295	▲ 177	▲ 59.9
	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	47	46	1	3.1
	TGアメリカグループ ^{※1,2}	346	128	218	169.1
	その他連結子会社	212	135	77	57.1
	連結子会社計	607	310	297	95.5

※1 数値は連結消去前の各社単純合算
 ※2 持分法損益含む

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】売上・利益等

(単位：億円)								
	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%	
売上高	29,470	29,470	0	0.0	28,347	1,123	4.0	
営業利益	1,860	1,860	0	0.0	1,976	▲ 116	▲ 5.9	
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	1,950	1,950	0	0.0	2,011	▲ 61	▲ 3.1	
経常利益	1,730	1,730	0	0.0	1,937	▲ 207	▲ 10.7	
特別損益	171	171	0	0.0	954	▲ 783	▲ 82.1	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	1,370	0	0.0	2,268	▲ 898	▲ 39.6	
補正項目 (経常ベース)	気温影響	0	0	0	—	▲ 24	24	—
	タイムラグ影響	167	167	0	—	181	▲ 14	—
	都市ガス	176	176	0	—	106	70	—
	LNG販売	▲ 1	▲ 1	0	—	31	▲ 32	—
	電力	▲ 8	▲ 8	0	—	44	▲ 52	—
	年金数理差異償却額	214	214	0	—	161	53	—

■参考：経済フレーム、気温

	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
為替レート（¥/\$）	156.14	155.00	1.14	0.7	150.67	5.47	3.6
原油価格（\$/bbl）	※1 86.68	※2 85.00	1.68	2.0	71.41	15.27	21.4
平均気温（℃）	16.9	16.9	0.0	—	17.4	▲ 0.5	—

※1 上期平均：\$103/bbl、下期平均：\$70/bbl ※2 上期平均：\$100/bbl、下期平均：\$70/bbl

■参考：年金（期待運用収益率：2%）

	2025年度	2024年度	2023年度
運用利回り			
※コスト控除後	3.91%	0.01%	2.21%
割引率			
年金分	2.95%	1.94%	1.15%
一時金分	2.24%	1.35%	0.63%
期末資産（億円）	2,335	2,330	2,400

TOKYO GAS GROUP

TOKYO GAS

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

32

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】セグメント別 売上高・利益

対前回見通し

	売上高 ^{※1}				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%
エネルギー・ソリューション（持分法損益含む）	25,394	25,394	0	0.0	1,402	1,402	0	0.0
ガス ^{※2}	15,727	15,727	0	0.0	1,099	1,099	0	0.0
電力	6,594	6,594	0	0.0	158	158	0	0.0
ソリューション	4,434	4,434	0	0.0	145	145	0	0.0
ネットワーク	3,336	3,336	0	0.0	12	12	0	0.0
海外	2,448	2,448	0	0.0	769	769	0	0.0
（持分法損益）	—	—	—	—	83	83	0	0.0
都市ビジネス（持分法損益含む）	966	966	0	0.0	180	180	0	0.0
売却 ^{※3}	257	257	0	0.0	90	90	0	0.0
調整額 ^{※4}	▲2,674	▲2,674	0	—	▲413	▲413	0	—
セグメント合計額	29,470	29,470	0	0.0	1,950	1,950	0	0.0
（持分法損益）	—	—	—	—	91	91	0	0.0

対前年度

	売上高 ^{※1}				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%
エネルギー・ソリューション（持分法損益含む） ^{※1}	25,394	24,861	533	2.1	1,402	1,502	▲100	▲6.7
ガス ^{※2}	15,727	15,374	353	2.3	1,099	870	229	26.3
電力	6,594	6,572	22	0.3	158	449	▲291	▲64.9
ソリューション	4,434	4,108	326	7.9	145	171	▲26	▲15.7
ネットワーク	3,336	3,344	▲8	▲0.2	12	41	▲29	▲70.8
海外	2,448	2,414	34	1.4	769	738	31	4.1
（持分法損益）	—	—	—	—	83	31	52	167.2
都市ビジネス（持分法損益含む）	966	734	232	31.5	180	97	83	84.7
売却 ^{※3}	257	130	127	96.9	90	60	30	49.3
調整額 ^{※4}	▲2,674	▲3,006	332	—	▲413	▲367	▲46	—
セグメント合計額	29,470	28,347	1,123	4.0	1,950	2,011	▲61	▲3.1
（持分法損益）	—	—	—	—	91	35	56	159.8

※1 「ガス」「電力」「ソリューション」の2025年度実績は26-28中計で示した事業内容に基づき組み換え再算定したものを開示

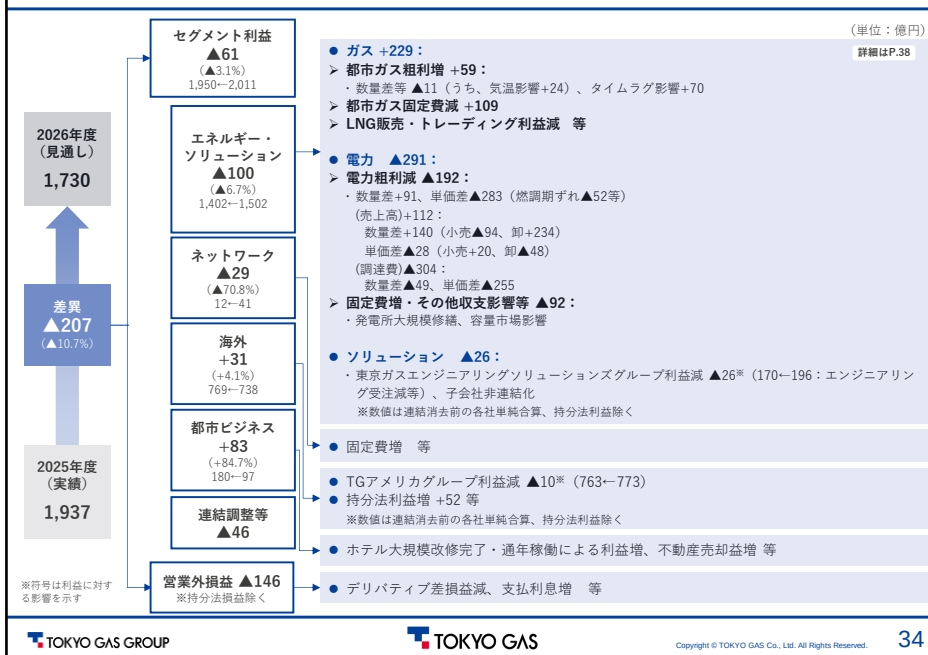
※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む

※3 営業外・特別損益に計上の固定資産（不動産）売却額・売却損益を含む金額はP.21を参照

※4 セグメント利益の「調整額」の主なもの、各セグメントに配分していない全社費用

※5 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】経常利益分析



【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】資産、キャッシュ・フロー等

(単位：億円)							
	2026年度見通し	前回見通し	増減	%	2025年度実績	増減	%
総資産	39,560	39,560	0	0.0	38,922	638	1.6
自己資本	17,040	17,040	0	0.0	17,174	▲ 134	▲ 0.8
自己資本比率	43.1%	43.1%	0	—	44.1%	▲ 1.0%	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	44.1%	44.1%	0	—	45.2%	▲ 1.1%	—
有利子負債残高	14,530	14,530	0	0.0	12,772	1,758	13.8
(内) ハイブリッド社債・ローン	833	833	0	—	833	0	—
D/Eレシオ	0.85	0.85	0	—	0.74	0.11	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	0.81	0.81	0	—	0.70	0.11	—

	2026年度見通し	前回見通し	増減	%	2025年度実績	増減	%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	1,370	0	0.0	2,268	▲ 898	▲ 39.6
減価償却費 ^{※2}	2,610	2,610	0	0.0	2,705	▲ 95	▲ 3.5
営業キャッシュ・フロー ^{※3}	3,980	3,980	0	0.0	4,974	▲ 994	▲ 20.0
設備投資 ^{※1}	3,860	3,860	0	0.0	3,088	772	25.0
投融資（相殺後）	377	377	0	—	▲ 136	513	—

※1 設備投資・減価償却費は内部取引相殺後

※2 減価償却費には長期前払費用償却を含む

※3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「親会社株主に帰属する当期純利益＋減価償却費」と定義した簡便法で算定

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】各種財務指標

		2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
総資本回転率 ^{※1}	(回転)	0.75	0.75	0.00	—	0.73	0.02	—
ROA ^{※1}	(%)	3.5%	3.5%	0.0%	—	5.9%	▲ 2.4%	—
ROE ^{※1}	(%)	8.0%	8.0%	0.0%	—	13.2%	▲ 5.2%	—
WACC	(%)	4.3%	4.3%	0.0%	—	3.4%	0.9%	—
1株当たり当期純利益	(円/株)	418.28	418.07	0.21	0.1	654.76	▲ 236.48	▲ 36.1
1株当たり純資産	(円/株)	5,233.65	5,229.95	3.70	0.1	5,151.08	82.57	1.6

※1 総資産・自己資本は期中平均値で算定

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】販売量・件数

	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
ガス販売量（百万m ³ ）	15,135	15,135	0	0.0	15,612	▲ 477	▲ 3.1
都市ガス販売量	10,790	10,790	0	0.0	11,175	▲ 385	▲ 3.4
家庭用	2,704	2,704	0	0.0	2,719	▲ 15	▲ 0.6
業務用	2,223	2,223	0	0.0	2,275	▲ 52	▲ 2.3
工業用	4,327	4,327	0	0.0	4,630	▲ 303	▲ 6.5
一般工業用	2,867	2,867	0	0.0	2,778	89	3.2
発電専用	1,460	1,460	0	0.0	1,852	▲ 392	▲ 21.2
卸	1,536	1,536	0	0.0	1,552	▲ 16	▲ 1.0
LNG販売量（千t）	1,264	1,264	0	0.0	1,822	▲ 558	▲ 30.6
LNG販売量（百万m ³ 換算）	1,580	1,580	0	0.0	2,277	▲ 697	▲ 30.6
トーリングによるガス自家使用量（百万m ³ ）	2,765	2,765	0	0.0	2,160	605	28.0
取り付けメーター数（千件）※	12,790	12,790	0	0.8	12,693	97	0.8
※ 専管事業者としてのメーター取付数							
電力販売量（百万kWh）	28,490	28,490	0	0.0	28,021	469	1.7

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】ガス粗利分析

(単位：億円)

	2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
ガス等売上	12,513	12,513	0	0.0	11,910	603	5.1
ガス原材料費	7,931	7,931	0	0.0	7,388	543	7.4
			うち為替	0		うち為替	158
			うち油価	0		うち油価	448
ガス粗利	4,582	4,582	0	0.0	4,523	59	1.3
			数量差等	0		数量差等	▲ 11
			気温影響	0		気温影響	24
			その他	0		その他	▲ 35
			タイムラグ影響	0		タイムラグ影響	70

【4-2 見通し 対 前回見通し／対 前年度】主要連結子会社見通し

(単位：億円)

社名		2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
売上高	東京ガスエンジニアリング ソリューションズグループ※1	2,434	2,434	0	0.0	2,355	79	3.4
	TGアメリカグループ※1	2,467	2,467	0	0.0	2,436	31	1.3
	その他連結子会社	14,987	14,987	0	0.0	15,007	▲20	▲0.1
	連結子会社計	19,890	19,890	0	0.0	19,799	91	0.5

社名		2026年度 見通し	前回 見通し	増減	%	2025年度 実績	増減	%
営業利益	東京ガスエンジニアリング ソリューションズグループ※1	170	170	0	0.0	196	▲26	▲13.2
	TGアメリカグループ※1,2	800	800	0	0.0	766	34	4.4
	その他連結子会社	280	280	0	0.0	240	40	16.8
	連結子会社計	1,251	1,251	0	0.0	1,203	48	4.0

※1 数値は連結消去前の各社単純合算
※2 持分法損益含む

【4-3 原油価格・為替レート変動の粗利影響感度（都市ガス）】

■原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

【ベース原油価格】2Q：\$93/bbl、下期平均：\$70/bbl

（単位：億円）

(単位：億円)						
	収支影響時期					
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計		
変動時期	第2四半期	0	▲ 4	5	1（売上高13、原料▲12）	
	第3四半期	0	▲ 1	▲ 9	▲ 10（売上高4、原料▲14）	
	第4四半期	0	0	▲ 1	▲ 1（売上高0、原料▲1）	
	通期	0	▲ 5	▲ 5	▲ 10（売上高17、原料▲27）	

■円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

【ベース為替レート】2Q以降：155円/\$

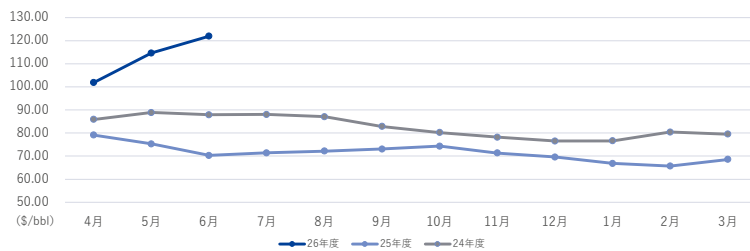
（単位：億円）

(単位：億円)

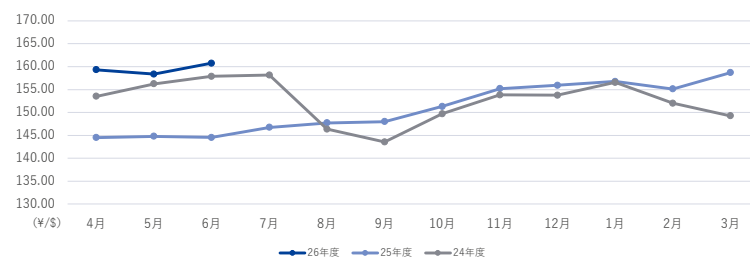
	収支影響時期				
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
変動時期	第2四半期	▲ 5	5	2	2（売上高15、原料▲13）
	第3四半期	0	▲ 6	6	0（売上高12、原料▲12）
	第4四半期	0	0	▲ 8	▲ 8（売上高2、原料▲10）
	通期	▲ 5	▲ 1	0	▲ 6（売上高29、原料▲35）

【4-4 原油価格・為替レート】

■原油価格（JCC）

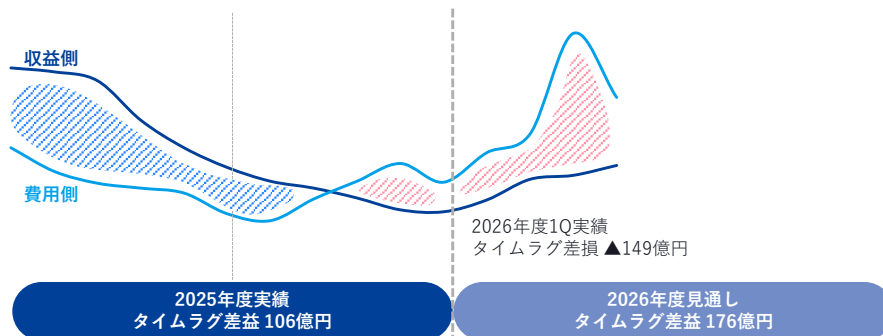


■為替レート



【4-5 タイムラグ差損益（都市ガス）】

■タイムラグ差損益（都市ガス）のイメージ



【4-6 参考】中東情勢の不安定化による当社への影響について

- ・現時点でエネルギーの安定供給に大きな影響はないことを確認。
- ・前回見通し（4月開示）において中東情勢に伴うマクロ環境変化の影響を一定程度織り込んでおり、今回2Q以降の経済フレームは据え置き。今後前提条件に変化が生じた場合には必要に応じて適切に見通しに反映。

調達・供給への影響

- ・LNG調達は長期契約中心で、中東からの調達契約も保持していないことから調達量への影響は限定的。

収支への影響

見通し 織り込み要素 (前回から変更なし)		市況の変化による 収支影響例
【前提フレーム】原油価格（JCC）：上期平均 \$103/bbl、下期平均 \$70/bbl		
ガス	タイム ラグ 影響等	・原油価格が一部のLNG長期契約にリンクするため、上期は原油価格上昇に伴い原料調達費用が増加するものの、約4か月後にガス料金（収益側）に反映されるため<u>下期・年度内での回収を織り込む</u> ・LNGスポット価格上昇等に起因し全日本平均LNG輸入価格（JLC）が高水準となることでの<u>当社調達優位性を一定程度織り込み</u>
	ガス 販売量	・中東情勢に伴う変化の織り込みはなし
電力	調達 費用	・一部電力を卸取引市場（JEPX）から調達しているため、エネルギー資源価格の上昇等に伴うJEPX価格の高水準な推移を想定し<u>上期調達費用増加を織り込み</u>
		・上昇基調が長期化した場合、区切られた会計期間ではプラスのタイムラグ影響が縮小 ・LNGスポット価格等に起因したJLCの高止まりが続き、当社調達優位性が継続した場合、ガス収支増 ・製造業等の大口需要家の稼働減に伴う需要減が顕在化した場合、販売量減 ・JEPX価格の高止まりが続いた場合、電力調達費増

